

アイデンティティベースの 安全なリモートアクセス

あらゆる環境にわたりユーザーの接続とアクセス管理を行う
セキュリティ自動化のスタンダード

*本ドキュメントは英語オリジナル版を日本語訳したものです。

インフラの保護はクラウドと共に 進化

クラウドを導入すると、従来の IP アドレスに基づく境界ベースのセキュリティから脱却して、一元的なポリシーと統合ワークフロー管理を使用してアイデンティティを基にユーザーの安全なアクセスを認証および承認するメカニズムへと移行することができます。

静的



専用サーバー
固定のリソース
同一機種

動的

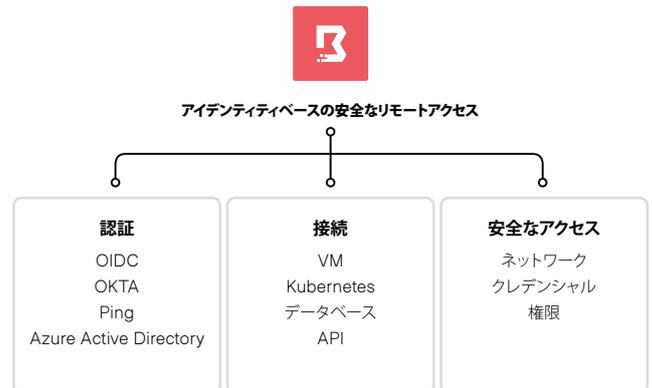


オンデマンドでの容量提供
無限のリソース
異機種混合

HashiCorp Boundary

あらゆる環境にわたりユーザーの接続とアクセス管理を行う
セキュリティ自動化のスタンダード。

- ・アイデンティティベースのセキュリティで動的なユーザーアクセス環境を実現
- ・ワークフローの自動化によって信頼性の高いプロバイダからのシングルサインオンを可能にし、最小限の特権アクセスを提供
- ・仮想マシンのホスト、Kubernetes、データベース、API などの**任意のターゲットシステムに接続**
- ・あらゆるネットワークや任意のクラウドのセッションに対し、SSH および RDP を介した**ジャストインタイムのアクセスを提供**
- ・クレデンシャルをエンドユーザーに公開せず、対象のセッションでのみ有効にする Vault との統合により、**クレデンシャルを保護**



メリット

スピード

アクセスワークフローの自動化により
開発者の生産性を向上

アイデンティティを中心に据えたワークフローを使用することで、サービスディスカバリーを自動化して常に最新のホストを維持しながら、リモートシステムへのアクセスをすばやく安全に確立可能

効率性

動的なアクセス管理により
マルチクラウドインフラを拡張

あらゆるネットワーク、クレデンシャル、権限にわたりジャストインタイムの安全なアクセスを提供

リスク

ジャストインタイムのクレデンシャルが
セキュリティ体制を強化

クレデンシャルをエンドユーザーに公開せず、対象のセッションでのみ有効にする Vault との統合により、クレデンシャルを保護

既存のテクノロジーの使用

- ・任意の IDP を活用し、認証、承認、SSO 用に信頼性の高いアイデンティティをオンボーディング
- ・トップクラスの可観測性プロバイダをサポート
- ・AWS および Azure のサービスレジストリをサポートし、ターゲットディスカバリの自動化を実現
- ・シークレット管理を行う Vault とネイティブで連携
- ・Terraform によってプロビジョニングされた Boundary リソースをデプロイして設定



 **8 社以上**
パートナー

 **15 以上**
Boundary 向けの検証済みの統合

機能の比較

	Boundary	HCP Boundary		Boundary Enterprise
	OSS	Standard	Plus	Plus
HashiCorp Vault を介したジャストインタイムのクレデンシャルアクセス	✓	✓	✓	✓
TCP、SSH、RDS、K8s データベースに対するジャストインタイムのネットワークアクセス	✓	✓	✓	✓
OIDC および LDAP を介したシングルサインオンのアクセス	✓	✓	✓	✓
アイデンティティプロバイダに基づくマネージドグループ	✓	✓	✓	✓
Terraform のサポートによるデプロイと構成の全面的な自動化	✓	✓	✓	✓
クレデンシャルのプロローカリング	✓	✓	✓	✓
ターゲットディスカバリの自動化	✓	✓	✓	✓
監査ログ	✓	✓	✓	✓
マルチホップセッション		✓	✓	✓
クレデンシャルの挿入		✓	✓	✓
監査ログのストリーミング		✓	✓	
自動更新		✓	✓	
ディザスターリカバリー		✓	✓	
プッシュボタンを使用したデプロイ		✓	✓	
セッションのレコーディング			✓	✓